

平成30年度
事業報告書

社会福祉法人 埼玉福祉事業協会

平成30年度 事業報告

1. 会是・基本理念の実践

当法人が倍増される様な規模の新規事業に対して、ハード面での建物建設がすでに開始され、運営・管理を行うための開設準備に関わる対応を、通常業務に加えて行わなければならないという大変難しい事態の中、職員が前向きにそれぞれの持ち場を守り新規事業のために知恵や技能を提供する年度となりました。

特に、今日の人材不足は深刻で、通常の事業運営の上でも充足が容易に出来ない中、近隣への募集は勿論、遠くは東北方面まで募集を行うなどの対応に努めました。

法人の会是・基本理念を実現していくための新規事業の円滑な開始に向けた様々な対応と準備作業を推し進めました。

また、従来の法人運営の向上も目指し、各法に基づく運営管理の基本を職員周知に努め、効率の良い運営管理や契約に基づく利用者生活支援サービスの向上の為の実践を行いました。同時に、職員育成にも努めました。

さらに、適正な事務会計処理を行い、施設の経費の最適且つ効率的な執行となるように管理執行しました。

インターネットや広報紙の発行など、法人の活動をわかりやすく地域や関係者に伝えるなど、法人・施設の様々な広報活動を行ない福祉や障害の理解が深まるように活動しました。

- (1) 法律及びこれに基づく命令(告示・通知を含む)並びに法人の定款・諸規程等を遵守するとともに、社会規範を尊重する事業展開をしました。
- (2) 利用者の人権を尊重し、利用者ひとりひとりの個性を大事にして豊かで充実した生活を送ることができるよう、個別支援計画に基づいたサービスを実行しました。
- (3) 利用者に「そこで住みたい、そこに通いたい」と選ばれる施設、利用者主体の施設作りを目指し、サービスの質の向上を図りました。集団生活や職員の都合を優先した支援を行わず、利用者主体の個別化された支援を提供するように心がけました。
- (4) 利用者が地域社会の構成員のひとりであることを尊重し、重度の障害のある人への生産活動の支援と、生産活動の充実を図り、生産製品の販路拡大と工賃増強に取り組みました。また、障害のある人の経済的な自立を支援するために、職業準備支援を行いました。
- (5) 整備された環境を提供することにより、利用者の生活の快適さを促進し、衛生を保持することにより、利用者の健康を維持する目的のもと、生活・作業の場面を問わず、整理整頓・清潔に常に気を配りました。また学園の備品を大切に使用し、消耗品等を効率的に使用するとともに、水道光熱や営繕等に係わる経費のムダを省き、限られた財源を真に利用者支援に必要な費用に有効活用できるよう取り組みました。
- (6) 職員の待遇改善に努め、法の定めだけでなく、各種手当などの改善を含む働きやすい職場を目指しました。また、高齢者の採用等の対応も行いました。

2. 実施事業内容

事業は、自立へ向けた学習や体験を主軸として、それぞれに役割と性格を持って利用者の活動要求に応じていく様にしました。法人として多機能な事業の展開をすることにより、それぞれの機能に、利用者それぞれの個性や役割が発揮されるように支援してきました。

(1) 新規事業

① 杉の子学園従たる生活介護事業所「すこやか倶楽部」：定員14名

障害のある人の新たな働く場所を創造するため、平成30年10月1日より異業種連携による健康増進施設「すこやか倶楽部」を開設しています。障害のある人の自立支援を通して、地域のニーズに応えられる“インクルーシブ活動の場”として、運営しています。

② プリムローズ共同生活住居「グリーンパーク」：定員2名

共同生活援助事業(グループホーム)の本体住居である「プリムローズ」と一体的に運営する共同生活住居として、平成31年2月1日より「グリーンパーク」を開設し、運営しています。

(2) 杉の子学園 生活介護事業：定員80名(すこやか倶楽部開始による)

主に、昼間、常時介護を必要とする方に入浴、排泄、食事の介護、創作活動又は生産活動の機会を提供しました。

生産活動として、「レンタルおしぼりの製作」「農作物の生産」「手すき和紙製品の製作」「石鹼や古紙再生植木鉢等のリサイクル製品の製作」「ピアショップ等の商品販売・接客業務」の5種類の作業を提供し、ご利用者の障害特性を踏まえた工夫をもって全員参加の支援を提供できるよう努めました。

利用者の働く場を拡大と地域貢献と位置付けた「杉の子マーケット」事業も、順調な経営が続き、利用者の工賃に大きく貢献することが出来ました。また、自家製品のあかしの森のパンはもちろんのこと農作物の需要も高く、法人内の生産製品の販売にも大きな貢献となりました。

さらに、埼玉県立精神医療センター「あかしの森のレストラン」は、利用者の接客作業のスマールステップとしての提供を行いました。

女子美術大学との協力による、製品の開発や販売の取り組みも実施しました。

(3) 杉の子学園 施設入所支援事業：定員50名

夜間及び休日に、入浴、排泄、食事の介護、その他の援助を実施しました。余暇活動を提供すると共に、外部ボランティアや音楽交流事業への参加も実施しました。

利用者生活を、サポートすると共に季節の行事(運動会・クリスマス会)や親睦旅行、外出支援、地域の行事への参加等、利用者の個々のニーズを把握し個別支援計画に基づいたサービスの提供を実施しました。

健康管理では、看護師による医師の指示に基づいたケアサービスを提供しました。

嘱託医：大宮中央クリニック医師回診、協力医療機関：大宮中央総合病院(休日夜間含む通院・入院受け入れ)、金子歯科診療所(往診)、白岡ファミリークリニック(月2回往診)により、日常的にご利用者の健康状態の把握に努めると共に病状が進行しないよう、早期発見早期治療の徹底を図りました。

(4) 杉の子学園 短期入所事業(併設型)：定員 7名、(空床型)

居宅において介護を行う人(障害者の家族等)が疾病、その他の理由により、障害児・者の介護が困難となった時に、短期間入所して頂き、入浴、排泄、食事の介護、その他の援助を、児童から成人まで幅広い利用者にサービスの提供を行いました。また、緊急一時保護の目的を果たすだけでなく、利用者の希望や特性に応じた生産活動への参加や余暇活動への参加を図りました。

(5) 杉の子学園 日中一時支援事業(知的・身体・精神・児童)：定員20名

日中における活動の場を確保し、介護者の就労の支援や、一時的な休息を目的とし、積極的に利用者の受け入れを行いました。入所施設に併設しているメリットを生かし、週末や放課後の他、早朝、夜間の受け入れ及び、送迎サービスも実施し地域の福祉ニーズに貢献できるよう努めました。

特に中高特別支援学校に通われている18歳未満の障害のある方々の利用が中心で、放課後や週末、長期休暇時には多くの方々が利用されました。

(6) あかしあの森 就労移行支援事業 定員6名

一般企業等への就労を希望する方に対して、定められた期間にわたり生産活動その他の活動の機会を提供し、就労に必要な知識及び能力向上のために必要な訓練、その他の支援を行いました。株式会社アークミール様との業務委託契約に基づき、店舗での職場実習(施設外支援)も実施しました。この様な、施設外就労や施設外支援を実施し、本人の希望や適性にあった職場への就労及び定着支援を行いました。

(7) あかしあの森 就労継続支援事業A型：定員10名

障害のある人の経済的自立を支援するために、就労を希望する方と雇用契約を結び、高度な作業工程の取得を目標とし、就労の喜びを得られるよう援助を行いました。生産活動として、「パンの製造」「焼き菓子の製造」の機会を提供し、埼玉県の最低工賃を保障し、利用者が自立した生活を送れるよう支援しました。

(8) あかしあの森 就労継続支援事業B型：定員34名

一般企業等に雇用されることが困難な方に対して、就労の機会や生産活動、その他の活動の機会を提供し、その知識及び能力向上のために必要な訓練、その他の支援を行いました。就労支援プログラムとして「パンの製造」「焼き菓子の製造」「レンタルおしぼりの製作」「花木栽培」などの生産活動の提供のほか、飲食店への就労を希望する方に対して、大宮花の丘農林公苑内にある「花の食品館レストラン」で調理の補助や食器洗浄

等、厨房業務を身に付けるとともに、人間関係や接客マナー等の社会性を学び場の提供も行いました。また、施設への公共交通機関の利便性が低いことから、通勤手段として送迎サービスも行いました。

(9) あかしあの森 生活介護事業：定員10名

主に、昼間、常時介護を必要とする方に入浴、排泄、食事の介護、創作活動又は生産活動の機会を提供しました。生産活動として、「レンタルおしぼりの製作」「花卉栽培」の作業を提供し、ご利用者の障害特性を踏まえた工夫をもって全員参加の支援を提供できるよう努めました。

(10) あかしあの森 短期入所事業(単独型)：定員19名

居宅において介護を行う人(障害者の家族等)が疾病、その他の理由により、障害児・者の介護が困難となった時に、短期間入所して頂き、入浴、排泄、食事の介護、その他の援助を行いました。

しかし、ほとんどの利用者が、短期入所でありながら、障害等により長期利用となってしまうということがあります。そのため、常に満床の状態が続き、緊急な受け入れが困難な状態が続きました。

(11) プリムローズ 共同生活援助事業：定員9名

共同生活を営む住居で、入浴、排泄、食事の介護その他の援助を行いました。社会的自立支援と地域生活の充実を図るため、安定した就労活動を継続出来るよう、きめ細やかな生活支援サービスを提供しました。利用者主体のライフスタイルを確立し、社会的自立を促進する為、休日の余暇活動支援の提供を個々のニーズに合わせて実施しました。

(12) プリムローズ 短期入所事業(併設型)：定員4名

入浴・排泄・食事の介護、その他の支援を行う共同生活を支援しました。ほとんどの利用者が、短期入所といっても、障害や家庭・社会的な事情により、長期利用となりました。常に満床の状態が続きました。平日の昼間は、地域の作業所へ通勤できるよう支援し、夜間等の余暇時間は、自立支援のための様々な支援を行いました。

(13) さいたま西部生活支援センター

居宅介護事業(身体・家事)、重度訪問介護事業、同行援護事業、行動援護事業、移動支援事業

地域生活の充実を図る為、在宅生活における介護サービス、公共交通機関や公共施設等の利用支援、遊びや運動を通じて発達やコミュニケーション支援の実施に努めました。利用者の主体は杉の子学園の日中一時支援利用者が多数を占め、特別支援学校への送迎などの移動支援や交流センターや公共施設利用時の行動援護が多くみられました。また、サービス利用希望が土日週末に集中してしまう為、法人内の機能の調整を行い、多くのニーズに応える事が出来るようにしてきました。

(14)さいたま西部生活支援センター

特定相談支援事業・一般相談支援事業・障害児相談支援事業

より良いサービス提供と利用計画案を作成して福祉サービスをご利用いただくよう居宅介護事業を行っているさいたま西部生活支援センター内の「障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に基づく特定指定相談支援事業」と「児童福祉法に基づく障害児相談支援事業」の事業所があり、利用者の皆様に安心して福祉サービスをご利用いただくための相談支援を行いました。個々のニーズに沿ったサービスの提供を図るために「サービス等利用計画」を作成しました。

(15)浦和ふれあい館喫茶ルーム「あかしの森」

高齢者・障害者共生事業(活動応援プラン)である浦和ふれあい館喫茶ルーム「あかしの森」の運営は、タイアップ先である公益社団法人さいたま市シルバー人材センターの理解・協力の元順調に推移しました。この事業では、あかしの森で製造した、パン・焼き菓子、杉の子学園で育てた新鮮野菜、手すき和紙の製品、古紙再生植木鉢、リサイクル石鹼等の生産製品をシルバー人材センターの会員の皆様が、販売・接客して頂くもので、高齢者・障害者共生事業として高く評価されました。

(16)地域における公益的な取り組み

①生活困窮者に対する相談支援事業(彩の国あんしんセーフティネット事業)

生活困窮者に対する相談支援事業は、制度の狭間の問題や生活困窮等の新たな福祉課題に対して、柔軟に対応し、社会福祉施設が地域のセーフティネットの役割を担うのが目的であり、具体的には、地域の生計困難者からの身近な相談機関となり、市町村社会福祉協議会と協働して経済的援助を含めた即応性のある対応とともに継続的な支援を行うものとして取り組みました。また生活困窮等の新たな福祉課題に対応するために、埼玉県内の社会福祉法人が協働して、利用可能な制度の紹介や支援機関への橋渡しを行うとともに、逼迫した状況にある場合には経済的援助(現物給付)を行い、生活困窮者の自立を支援しました。

②個別運動指導

地域の高齢者に向けて、フレイル予防(※)に寄与し、地域との繋がりを強化することを目的とした運動の機会を無料で提供しました。

(※)人は年を取ると段々と身体の力が弱くなり、外出する機会が減り、病気にならないまでも手助けや介護が必要となってきます。このように心と身体の働きが弱くなってきた状態を、フレイル(虚弱)と呼びます。

(17)新規事業準備対応の実施

①新規事業の目的と準備対応

当法人の施設を希望して待っている方々への対応は当法人の長年の課題でした。どこの施設利用も断られ、困難な状況に追い込まれている方、障害特性が著しい方、強度行

動障害、発達障害、様々な障害により、社会の中で生活に困難をきたしている障害のある方々の安心した生活の提供は、福祉法人の使命でもあります。また、自立生活を目指す障害者のステップアップのための施設も社会のニーズとして求められていました。これらの課題に、積極的に応えるものとして新規事業を次年度展開するための準備を通常業務と並行して実施しました。

②障害者支援施設設立計画内容

さいたま市が計画する平成 29 年度障害者(児)福祉施設設立計画募集事業の障害者支援施設の新設で、平成 30 年 1 月 22 日より着工し、平成 31 年 2 月 27 日に竣工致しました。平成 31 年 3 月 5 日に完成時検査が実施され、3 月 15 日付で「概ね適正、指導事項なし」の結果通知を受領しました。平成 31 年 3 月 8 日には『事業指定申請書』が受理されており、平成 31 年 4 月 1 日に開所する予定です。

③名称 障害者支援施設 ゆずり葉

④事業内容 施設入所支援 (50 名) 宿泊型自立訓練 (20 名)
短期入所 (併設 10 名) 生活介護 (60 名)
就労継続支援 A 型 (10 名) 就労継続支援 B 型 (30 名)
一般相談支援 (地域移行支援・地域定着支援)

⑤建設に関しては、2 週間に一回建設業者・設計士・法人関係者が、建設の進捗等に関して話し合いました。

⑥人材確保のために、通常のハローワークでの募集の実施、各種の就労フェア等への応募、チラシの大量配布、新規高等学校卒業者のアプローチ、近隣を含む関係者への広報活動などを実施しました。

⑦既存施設からの人材の拡散が必要なことから、職員への新規施設建設に当たっての周知や一人ひとりの役割などに関する研修等を行いました。

3. 生産活動の提供

(1) 杉の子学園 おしぼり班

長年実施しているレンタルおしぼりの製作では、回収後のおしぼりのゴミ取り、洗濯、重ね・はぶき、製作機(包装機)、検品、袋詰め等各作業を行いました。

制作に携わる職員の爪、髪、髭などの衛生面の徹底及びご利用者の衛生面の支援不良品おしぼりを出さないように徹底するための、支援や工程管理などでの利用者参加や対応など自立支援のための支援を行いました。長期連休中の多量のおしぼり製作時には、「あかしあの森おしぼり班」と連携を取って対応するなど、利用者の参加と支援員のシフトの工夫などにより、取引先との関係向上を図りながら、製作量向上にも努めました。また、作業室内の衛生環境(清掃、作業衣の清潔維持、身嗜み)についての支援も常時行いました。

(2) 杉の子学園 農耕班

利用者と共に、施肥、播種、育苗、定植、生育管理(灌水、除草、病虫害防除)野菜の収穫、運搬、袋詰め、圃場内環境整備(草刈り、用水路清掃)を行いました。除草作業等のメ

メンテナンスを極力減らすために、早めの対応をおこないました。利用者の作業時間と熱中症に関しての工夫をしました。小松菜、ホウレン草、水菜、春菊、紅葉苔、レタス、エンドウ、ソラマメ、エダマメ、ジャガイモ、ニンジン、タマネギ、葉ネギ、トマト、ミニトマト、キュウリ、ナス、ピーマン、ズッキーニ、オクラ、トウモロコシ、サトイモ、大根、カブ、きゃべつ、白菜等々の栽培をしました。

(3) 杉の子学園 紙漉き班

手漉き和紙製品(ぼち袋、熨斗袋、祝い膳、扇子、名刺等)の製作作業を行いました。

裁断した牛乳パックを煮込み、パックの表面についているフィルムを剥がすし、フィルムを剥がした紙の千切り、千切った紙の乾燥、ミキサーを用いてちぎった紙と水とを混ぜ合わせる、紙漉きを行い、漉いた紙の乾燥という一連の過程を利用者と分担しながら実施しました。一人ひとりのご利用者の支援方法を工夫し、在庫管理を行うことなどの対応をしました。

(4) 杉の子学園 館内作業班(リサイクル石鹼、彩生ポット、館内美化)

リサイクル石鹼、液体石鹼の製作は、廃油の異物除去作業、苛性ソーダを加え攪拌し型に流す作業、石鹼の成型および包装作業、固形石鹼を成型する際に出る石鹼の削り粉を容器に入れ、お湯を足して箸で攪拌しながら溶かして液体石鹼を作る作業棟に分かれており、それぞれ得意な利用者が、継続的に行いました。

また、彩生ポット(古紙再生植木鉢)製作作業では、新聞紙、コピー用紙の千切り作業

掻き混ぜた材料と水と染料を混ぜあわせ、脱水機に掛ける作業、脱水した材料の粉碎作業、成型機を用いた成型作業、成型した彩生ポットの型抜きおよび乾燥作業、品質管理、ヤスリ掛け、ラベル貼りの実施などを行いました。

さらに、館内美化としての清掃作業も行いました。

(5) 杉の子学園 販売班・杉の子マーケット・あかしあの森のレストラン・すこやか倶楽部

月曜日から金曜日までさいたま市内の区役所(西区、桜区、中央区、浦和区、大宮区、南区)のピアショップ販売参加や地域の販売行事への出店を行いました。パン、洋菓子、野菜、販売道具等の運搬、お客様への挨拶、呼びかけ、商品の袋詰め、受渡しなど、利用者の個性に応じて対応しました。

また、「杉の子マーケット」での販売業務では、バーコード読み取り、商品の袋詰め、受渡し、パン、洋菓子、野菜等の陳列及び廃棄、洋菓子の箱の組み立て、箱詰め等々の作業だけでなく、杉の子マーケット周辺、駐車場、精米機の清掃なども行いました。「杉の子マーケット」では、授産製品の販売店舗・地域への発信拠点として、ご利用者が「販売」を通して地域の方と交流を持つことで、自立へ向けた支援を行いました。

さらに、「あかしあの森のレストラン」では、接客サービスの希望があっても働くことが困難なご利用者を対象として、障害に対しての理解も深く、接客練習の協力を得られる場所での接客をスモールステップの一つとしてご利用者に提供しました。

「すこやか倶楽部」では、接客やレジ業務をしたり、店舗の床やトレーニングマシンの拭上げ・清掃をしたり、タオルやウェアのたたみ作業を提供しました。利用者の働く場であるとともに、一般の方の健康づくりはもちろん、脳性麻痺や認知症のある方にも運動支援を行い、身体を動かす楽しさと社会との関わりを感じられる場として運営しました。

(6) あかしあの森 おしぼり班

爪、髪、髭などを確認して、衛生第一で作業を支援しました。利用者の作業の幅を広げられるように、支援しました。「杉の子学園おしぼり班」との連携も出来、分担して対処することも順調に出来ました。

清掃はおしぼり室の中だけではなく、館内清掃も行ない、自分達が使う施設は自分達で綺麗にする意識・行動を職員自らが率先し、利用者の模範となるよう職務に努めました。

(7) あかしあの森 花木班

ハウス内で花、観葉植物、苗を育成(種まき、植え替え、鉢上げ、施肥、温室管理、水やりなど)と畑で作物の育成(植え付け、水やり、ネット張り、マルチング、農薬散布、間引き、収穫など)果樹畑にある果樹を育成(摘果、剪定・整木、花摘み・受粉、農薬散布、袋かけ、収穫など)を行いました。さらに、花のレンタル営業(観葉植物の交換、メンテナンス作業など)も行いました。

今年度は、夏季に於ける熱中症問題などもあり十分な配慮を行いました。作業において清掃の時間を設け、温室内を清潔に保つことを意識すると共に時間配分を工夫して効果的に作業に取り組めるようにしました。

(8) あかしあの森 パン工房

パン生地を作成、生地の計量及び切り分け、成型、発酵、焼成及び養生、商品の袋入れの各種作業を実施し、利用者の作業能力向上と、製パンに携わる範囲を広げる支援を繰り返し行いました。製造規模拡大を見据えた安全な製パンマニュアルの整備を図り、利用者の工賃向上のための努力をしました。特に、食品製造で重要な衛生管理に関する支援や意識向上に努めました。

利用者の就労に向けた知識や能力の向上を意識して声掛け、見守りを行いました。

(9) あかしあの森 菓子工房

計量、計量した食材を正しい順番でタイミングよく合わせていく、決められた温度、時間で焼成を行う。(生地の種類、状態などによって温度、時間を変更する)、商品によって決められたサイズ、材質の袋に入れてシーラーで留める、リボン結び、シール貼り、支援員がサポートしながら実行し、目標達成できるように努めました。利用者の一人ひとりのスキルアップを目指し、みんなで協力して取り組むようにしました。また、衛生面に気を配り、「安心」「安全」な商品を提供し、利用者の就労に向けた知識や能力の向上に努めました。

(10)あかしあの森 花の食品館レストラン

花の食品館レストラン(2階)での接客・調理補助・運營業務では、ホール、調理場清掃を行う、食材準備(米とぎ、サラダ、漬物など)を行う、コーヒーメーカーを操作して、ホットコーヒーを準備する、注文に応じた調理補助(トレーや食器、ご飯や汁物を用意するなど)を行う、フロア業務(お冷・おしぼり提供、配膳、下膳など)を行う、レジ業務を行う、テーブルの拭き上げ、食器や調理器具の洗浄を行うなど、多様な業務だけでなく、相手に対しての配慮や挨拶などの接客マナーも求められることから、利用者の個性に合わせた支援を行いました。

また、花の食品館(1階)での今川焼・揚げ物の作成販売、パン・洋菓子販売業務では、今川焼の材料準備、焼き上げ販売、アメリカンドッグ、たこ焼き、唐揚げ等の製造販売、パン、洋菓子等の販売を行いました。来店時のマナーを重点的に継続して声掛け支援を行いました。

さらに、1階2階共通して、手の洗い方、マスクの着用の仕方(鼻を出さない等)、帽子のかぶり方、爪(汚れ、伸び具合)等を継続して衛生面の声掛けを行いました。お客様が、リピーターとなっただけの対応にも工夫しました。利用者の一般就労に向けた知識や能力の向上を意識して支援や見守りを行いました。

4. 生活支援

個別支援計画による、支援方法のモニタリングは3か月ごとに行いました。

また、個別支援計画に沿った支援を行い、記録の入力・閲覧を速やかに行うことで全職員が情報を共有し統一性を持って充実した支援を展開することを心がけました。食事支援、排泄支援、入浴支援、着替え支援、整容・洗面の支援だけでなく、生活環境整備支援等も随時行いました。さらに、リネン交換(週1回実施、失禁時はその都度行なう)や居室の清掃・整理・整頓の支援・介助も行いました。

生活支援は、実施支援の事例は以下の通り。

- ①居室整理支援をしました
- ②余暇時間の外出支援をしました。
- ③個別支援計画を基本とした、日常活動全般の見守りと声掛けを実施しました。
- ④話しやすい環境を作る事を大切に考え、利用者が何を訴えているか傾聴支援をしました。
- ⑤見守りと声掛けを職員同志で考え統一性を持って行ないました。
- ⑥発語が困難な利用者には表情で汲み取る事が出来るように努力しました。
- ⑦利用者個々の特性に合わせた支援をおこないました。
- ⑧余暇時間に、杉の子マートでの買い物や多目的ホールでのカラオケを支援しました。
- ⑨職員間、情報を共有し、利用者の特性を理解した上で支援にあたりました。
- ⑩送迎サービス時、時間に余裕を持ち、安全運転で事故をなくす対応をしました。
- ⑪利用者の「要求」「必要性」に応える援助のための情報提供をしました。
- ⑫生活の場面を通して利用者の自立支援を行いました。

5. 余暇活動

以下の通り実施しました。

企画名	実施内容
ウォーキング	日常の生活で外を歩くことが少ない為、河川敷を散歩、また近隣の公園にて身体を動かす事によって体力増強に努めました。活動中に近所の方との挨拶を行ない、近隣とのコミュニケーションを図りました。
音楽活動・カラオケ活動	季節の歌、行事で発表する為の歌や合奏の他、ご利用者からのリクエストに対応し、音楽を通して楽しい時間を過ごせるよう取り組みました。
創作活動	クレヨンや、絵の具を使用して頂き、ご利用者の好む塗り絵の他、工作や貼り絵等様々な創作メニューを提供し、クラブの時間以外にも個々のご利用者が余暇活動の充実につなげて行けるよう取り組みました。
ホームシアター鑑賞会	レンタルによる映画等の鑑賞や施設の行事記録映像などをスクリーンに映して鑑賞しました。
トレーニング	トータル・バランス・コンディショニングの講師を招聘し、健康増進活動として毎月2回開催しました。小集団でのリズムやボール等を使った運動の機会を提供することにより、余暇活動の充実を図りました。また、個別に運動指導を実施することで、生活の質の向上を図りました。

6. 行事

以下の通り実施しました。

行事名	内容
埼玉福祉事業協会 フェスティバル	時期：4月29日 場所：埼玉福祉事業協会大駐車場 内容：お世話になっている方々、法人利用者及び他施設の方や近隣の方々様々な方に楽しく過ごして頂ける場を提供し、利用者、御家族と親睦を深めました。ステージプログラムの他、飲食屋台など多数の出店をしました。
親睦旅行	時期：6月17日～19日、7月1日～2日、7月9日～10日 場所：国内名勝地 内容：公共施設や交通機関を体験し、自立に向け社会性を身に付けて頂くと共に、旅の楽しさを実感して頂きました。事前にアンケートを行い、利用者が行きたい場所を考慮し1泊と2泊コースに分けて利用者自身に選択して頂き希望の旅行に参加する事が出来ました。
七夕会	時期：7月7日 場所：杉の子学園食堂、あかしあ森食堂、プリムローズリビング 内容：五節句の一つで、日本古来の伝統行事を祝って、短冊に思いを込めたり、七夕に纏わるDVDを上映したりしました。
大運動会	時期：10月7日 場所：日本大学法学部大宮校舎・グラウンド 内容：体力向上を目的とし、障害の有無を超えて参加される方々との交流を深め、また社会性を身に付けるイベントとして行いました。
西区ふれあい祭り	時期 11月10日 場所 三橋総合公園 多目的広場 内容 地域の祭りに参加しました。法人からも出店、「あかしあ森パン」「焼き菓子」の授産製品や「今川焼き」等の販売を行いました。

埼玉福祉事業協会 クリスマス会	時期：12月18日 場所：桜区プラザウエスト「さくらホール」 内容：利用者、御家族、お世話になった方々と、クリスマスに因んだ演目を通して交流を深めました。
餅つき大会	時期：12月28日 場所：埼玉福祉事業協会大駐車場 内容：利用者、家族、職員一同共に、日本の年中行事の1つである餅つき大会を行い、地域の文化を伝承すると共に来年の幸せを願いました。
新年会	時期：1月4日（通所）、1月5日（入所） 場所：杉の子学園・食堂 内容：新たな年を迎えられる喜びを感じ、健康で充実した一年が迎えられよう、関係者が一堂に交流しました。
節分会	時期：2月3日 場所：各施設・食堂 内容：五節句の一つで、日本古来の伝統行事として、豆まきや恵方巻きを頂きました。

7. 給食

機器や機具を有効に活用してより効率的でおいしい給食提供へ努力してきました。利用者の楽しみな給食となるように、人材の育成と管理にも努め、給食提供の向上を図りました。栄養士は、原材料単価や発注・納品についても確認し、適正な価格で行われるように管理しました。また、食材の、鮮度、食品添加物のない食材など食品衛生管理に注意して検食簿などを参考に適切な指示を行いました。

(1) 給食内容の向上

- ① 嗜好調査による利用者の嗜好に対応する給食に努めるようにしました。
- ② 検食簿を強化して、広い視野での給食の検討をしました
- ③ 利用者の自由や希望をなるべくかなえられるメニューを実施しました。

(2) 衛生管理

- ① 集団給食の衛生管理に務め、調理器具の消毒・室内清掃は毎日励行しました。
- ② 食中毒の予防及び食品管理等については、給食事故を出さないように努めました。
- ③ 食中毒を未然に防止しました

(3) 利用者一人あたりの栄養所要量の確保をしました

美味しい食事の提供と同時に、給食の残滓や利用者の嗜好を参考に、平均栄養量に見合った、献立・調理となるようにしました。

(4) 行事食等の提供をしました

クリスマス会等の行事において、季節や利用者の嗜好に合わせた食事を提供しました。季節感(旬)が感じられる食事を提供しました。体調不良の利用者については、看護師に相談しメニューを考慮して提供しました。

(5) 検食等

検食簿・残食簿の記入を徹底、利用者に安心・安全な食事を提供するようにしました。

8. 健康管理

利用者は重度・最重度の知的発達障害と生来の虚弱性に加えて、癲癇・精神障害・その他の合併症を持っている方も多いため、利用者の定期的な健康診断をはじめ、日々の健康管理には細心の注意を払い、健康の維持に努め、生活のリズムを崩さないように支援しました。

疾病等の対処は、早期発見・早期治療を心掛け、利用者の心身の状態観察に細心の注意を払って対応してきました。地域医療機関との連携、内科・精神科の嘱託医との連携も円滑に行いました。

また利用者は体調の変化等を自己表現できない方が殆どであるため職員・看護師・医師・3者の確実な連帯によって適切なケアを実施しました。

(1) 日常支援実施内容

- ①慢性疾患などの服薬や塗り薬などの支援を行いました。
- ②往診歯科の実施 往診歯科を継続し定期的な歯科の健康に努めました。
- ③日常ケアとして、検温・顔色などの確認、適時血圧・脈拍の測定を実施しました。
- ④アトピー・アレルギーなどの個別的健康への配慮をしました。
- ⑤加齢による身体機能への配慮をしました。
- ⑥衛生管理として、トイレ・手洗いの衛生管理の徹底を実施しました

(2) 定期健康診断等を実施しました。

- ①定期健康診断(胸部X線、検便、検尿、血液検査、等)
- ②細菌検査
- ③内科検診
- ④精神科相談
- ⑤予防接種

9. 防災・安全

(1) 防災と安全確保の為に、消防計画に基づいた日頃の訓練を行いました。

(2) 事故防止の訓練および研修を通じて、危機意識や、安全の確認点検意識を高めました。

(3) 訓練時には、事故が発生しないように配慮して行いました。

(4) 主な防災対策

- ①避難訓練の実施
- ②防災用非常食の備蓄 給食備蓄を含めて、人数分の食料と飲料水保管
- ③消防設備及び避難口の点検 業者の定期点検外に、随時点検の実施

(5) 車両安全

- ①安全運転を行なう為の研修を定期的実施しました。
- ②運行記録表の管理、公用車運行の適正配備管理等を行いました。

10. 人事・研修

活力のある人材育成を目指し、人事の効率化や適材適所を行うことで、人材育成を行い、支援技術や専門性の向上を図りました。特に、時間が掛かっても法人の理念・方針、職員倫理綱領等々が現場に浸透し、利用者の人権や尊厳が生活の隅々まで守られているような施設を作っていくための職員育成に力を注いできました。

(1) 障害福祉従事者等養成研修

- ・ サービス管理責任者（介護）（地域）
- ・ 相談支援専門員
- ・ 強度行動障害支援者養成研修（基礎）（実践）
- ・ 同行援護従事者養成研修

(2) 内部研修（講師招聘を含む）

- ・ 初任者研修
- ・ 個別支援計画作成に関わる研修
- ・ あすなろ台帳システム活用に係わる研修
- ・ 衛生管理研修
- ・ 喀痰吸引等研修
- ・ 防災研修クロスロード

(3) 外部研修

- ・ 新任職員研修
- ・ 中堅職員研修
- ・ 介護職員実務者研修（介護福祉士受験資格取得）
- ・ 社会福祉施設長資格認定講習
- ・ メンタルヘルス推進者養成研修
- ・ 感染症基礎研修
- ・ 彩の国あんしんセーフティネット事業担当相談員養成研修
- ・ 地域における公益的な取組み推進セミナー
- ・ 福祉有償運送運転者 1 日講習会
- ・ 福祉車両安全運転講習会
- ・ 社会福祉法人監査研修
- ・ 福祉サービス苦情対応研修
- ・ ジョブサポーター研修
- ・ 給食施設従事者等研修
- ・ 浄化槽講習会

(4) 講師派遣

- ・ 埼玉県発達障害福祉協会 平成 30 年度実践交流会
「接客業に従事することで、少しだけ自信が持てた利用者の事例」
「施設の耕作地の中に、本人専用の耕作地を提供することで意欲的に活動して頂いた事例」

(5) 関係機関その他

- ・全国知的障害関係施設長等会議
- ・日本知的障害者福祉協会 日中活動支援部会全国大会
- ・全国社会福祉法人経営者協議会 障害福祉事業経営セミナー
- ・埼玉県発達障害福祉協会
障害者支援施設部会、地域生活支援部会、利用者支援部会
- ・さいたま市障害者総合支援センター 就労移行支援施設連絡会
- ・さいたま市西区相談支援事業所連絡会

1 1. 会議・委員会

会議名	内容	出席者
職員会議	運営全体に関する事	全職員対象
運営会議	施設運営についての検討	管理者・運営者
ケース検討会	利用者の全体の生活支援に関する事	施設長・生活支援・医務
入退所判定会議	利用者の入退所に関する事	関係者
食事検討委員会	食事全般に関する事	施設長、栄養士、調理員、支援職員等
保健検討会	利用者の健康管理に関する事	看護師他
虐待防止委員会	利用者に対する虐待に対しての防止や検討。虐待を防止するための体制整備。利用者の権利擁護。利用者が福祉サービスを適切に利用できるような支援。虐待の防止に努めるとともに、障害者の権利・生命・財産を守ること。	施設長・生活支援他
苦情解決委員会	利用者の福祉サービスの利用権を守り、自由・人権・プライバシーが確保されているかを点検すると共に福祉サービス需給過程における様々な苦情の解決及び生活上の相談等。	施設長・役職者等

1 2. 地域・ボランティア・研修の受け入れ

- (1) 行事ボランティアの受け入れをしました。
- (2) 保育実習生、介護等体験実習生の受け入れをしました。

平成30年度埼玉福祉事業協会活動報告

(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

年	月	日	利用者関連行事	法人・職員関連
H30	4	3		大宮西警察署 交通安全出発式
		6		家族会
		7		塚本自治会定期総会
		8	しびらきまつり参加	
		10		埼玉大学附属特別支援学校入学式
		14	(授産製品販売)浦和競馬場	
		15	(授産製品販売)浦和競馬場	錦が原櫻草保存会
		17	春季健康診断	春季健康診断
		20		発達障害福祉協会評議員会
		21		塚本共同墓地管理組合総会
		22		塚本環境保全会総会
		29	埼玉福祉事業協会フェスティバル	
	5	6	(授産製品販売)浦和競馬場	
		8		通所家族会
		11		家族会
		13	(授産製品販売)浦和競馬場	
		18		川越特別支援学校保護者向け事業所説明会
		20	(授産製品販売)浦和競馬場	
		23		決算理事会
		24		さいたま市障害者相談支援事業所連絡会
		25		大宮地区労働基準協会総会
		26		大宮北特別支援学校 運動会 埼玉大学附属特別支援学校 運動会
		27		塚本自治会ゴミゼロ清掃活動
		29	避難訓練	
	6	3	(授産製品販売)浦和競馬場	
			(授産製品販売)北浦和西口商店街	
			大宮ゆめの園まつり参加	
		6	(授産製品販売)浦和競馬場	
		8		家族会
		12		管内高等学校就職担当者与企业との情報交換会
		13		定時評議員会
		17	親睦旅行(2泊3日)大阪・京都方面	
		18	親睦旅行(2泊3日)大阪・京都方面	
		19	親睦旅行(2泊3日)大阪・京都方面	
		20	(授産製品販売)コルソ手作り市	院長回診
		21	(授産製品販売)コルソ手作り市	
		24	(授産製品販売)浦和競馬場 久美LIVE参加	
		29		発達障害福祉協会 新任職員研修
		7	1	親睦旅行(1泊2日)鴨川方面
	2		親睦旅行(1泊2日)草津方面	
	4			発達障害福祉協会 新任職員研修
	6			家族会
7	七夕会			
9	親睦旅行(1泊2日)Bコース			
10	親睦旅行(1泊2日)Bコース			

	7	13		通所家族会	
		15		塚本神明神社 夏祭り	
		16	かものみや「たのしいスポーツレクリエーションのつどい」		
		17		理事会	
		21	(授産製品販売)扇の森「夏祭り」		
		24		西区相談支援事業所連絡会	
	8	3		家族会	
		5		(仮称)プリムローズⅡ近隣住民説明会	
		6	日進七夕まつり		
		7	日進七夕まつり		
		8			相談支援従事者初任者研修
					強度行動障害支援者養成研修
		9		理事会	
		16		福祉避難所打合せ	
		20		ストレスチェック対策実施の為の説明会	
		22		西区相談支援事業所連絡会	
	24		大宮北特別支援学校 進路対策検討会		
	9	7		家族会	
		11		相談支援従事者初任者研修	
		14		通所家族会	
		21		福祉避難所 実動訓練	
		23	ふれあいスポーツ交流会参加		
		24	(授産製品販売)スポーツフェスティバル		
	10	4		埼玉大学附属特別支援学校 評議員会	
5			家族会		
7			大運動会		
13		(授産製品販売)イオンさいたま市フェア			
14		(授産製品販売)イオンさいたま市フェア			
17			西区相談支援事業所連絡会		
19			福祉避難所 図上訓練		
20			(授産製品販売)リハセンまつり		
			どうかん祭り参加 楽しいわが家秋祭り参加		
23			家族会懇親会		
24			ゆずり葉入所調整会議		
27			蕎麦打ち昼食会		
			久美愛園まつり参加		
28		ひかわ青空市			
30			埼玉大学附属特別支援学校 就業体験		
31		(仮称)プリムローズⅡ準備審査会			
H30	11	2		家族会	
		3	(授産製品販売)みぬま秋フェス		
		4	(授産製品販売)サイクルフェスタ		
			(授産製品販売)みぬま秋フェス		
		5		理事会	
		6		計画相談請求説明会	
		7		右岸地区親睦旅行(1日目)	

	11	8		右岸地区親睦旅行(2日目)
		10	西区ふれあい祭	
		11	フィッシング祭り	
		13		通所家族会
		14	西区ネットワークフェア参加	
		22		新卒採用者見学会(高等学校卒業見込み)
		25		塚本神明神社大祭
		26	(授産製品販売)あずみ苑 避難訓練	
		27	秋季健康診断	秋季健康診断
		27		理事会
H30	12	7		家族会 評議員選任・解任委員会
		8	(授産製品販売)埼玉うまいもの市場	
		15		埼玉大学附属特別支援学校 学習発表会
		17		発達障害福祉協会 施設入所支援部会
		18	クリスマス会	
		19		西区相談支援事業所連絡会
		22	(授産製品販売)あずみ苑	
		28	餅つき大会	
H30	1	1	初詣(塚本神明神社)	塚本神明神社元旦祭
		4	通所新年会	
		5	新年会	
		8		通所家族会
		9		法人・施設指導監査、実地指導監査
		10		理事会 評議員会
		11		家族会
		13		ゆずり葉入所者説明会 右岸地区親睦旅行(成田山)
		22	(授産製品販売)あずみ苑	
		29		社会福祉施設関係 賀詞交歓会
	2	1		西区新春賀詞交歓会
		2		家族会新年会
		3	節分会	
		8		家族会
		10		喀痰吸引等研修(1日目)
		11		喀痰吸引等研修(2日目)
		19		防災研修クロスロード
		21		埼玉大学附属特別支援学校 評議員会
		23	ふれあいコンサート参加	
	3	3		塚本神明神社 春祭り
		6	(授産製品販売)コルソ手作り市	
		7	(授産製品販売)コルソ手作り市	
		8		家族会
		10		ゆずり葉竣工式
		16		理事会

	3	21	(授産製品販売)さいたま市民会館おおみや	
		26		評議員会
		その他	・個別またはグループ外出支援(月1回)	・個別支援計画の目標面接
			・ふれあい音楽交流会(月1回)	3/12、13、14、15、18、19、20、25
			・DVD鑑賞(随時)・カラオケ(随時)	・運営会議・職員会議及び支援会議(月1回)
			・トレーニング(月2回)	上記他、作業班ごとにケース会議(月1回)、
			・理美容(月2回)	給食会議、虐待防止委員会を実施。
		・公園清掃 年回52回(原則 毎週金曜日)		
		見学・実習受け入れ	・施設実習受け入れ人数:6大学27名、5専門学校31名	
			・介護等体験受け入れ人数:6大学6名	
			・さいたま市中学生職場体験事業(未来くるワーク体験):3名	
			・見学者受け入れ人数:137名	
			1/30 大宮北特別支援学校(31名)、2/18 松戸市ボランティア連絡協議会(33名)、	
			その他の見学 4/13,5/14.29,6/13.21,7/27,8/3.10.22.23,10/2.31,11/5.13.16.22,12/5.12(計80名)	

利用者の状況

H31.3.31

杉の子学園 生活介護事業

年齢別利用者状況		市町村別利用者状況				障害支援区分別利用者状況	
年齢区分	人数	市町村名	人数	市町村名	人数	区分	人数
18～20歳	8	さいたま市	41	久喜市	0	1	0
21～30歳	16	川越市	4	南埼玉郡	0	2	0
31～40歳	10	川口市	5	北葛飾郡	0	3	0
41～50歳	34	朝霞市	4	草加市	2	4	0
51～60歳	7	上尾市	2	志木市	0	5	4
61～70歳	2	ふじみ野市	3	春日部市	1	6	75
71歳～	2	板橋区	1	鴻巣市	2	合計	79
平均年齢 33.2歳	79	和光市	1	三郷市	2		
		日高市	1	蓮田市	2		
		東松山市	1	鶴ヶ島市	1		
		越谷市	2	吉川市	1		
		富士見市	1	宮代町	1		
		杉戸町	1				
				合計	79		

杉の子学園 施設入所支援事業

年齢別利用者状況		市町村別利用者状況				障害支援区分別利用者状況	
年齢区分	人数	市町村名	人数	市町村名	人数	区分	人数
21～30歳	1	さいたま市	19	南埼玉郡	0	1	0
31～40歳	8	川越市	2	北葛飾郡	0	2	0
41～50歳	35	川口市	6	草加市	2	3	0
51～60歳	5	朝霞市	4	志木市	0	4	0
61～70歳	2	上尾市	2	春日部市	1	5	0
71歳～	1	越谷市	2	鴻巣市	2	6	52
平均年齢 46.4歳	52	和光市	1	三郷市	1	合計	52
		日高市	1	蓮田市	2		
		東松山市	1	吉川市	1		
		杉戸町	2	宮代町	2		
		富士見市	0	板橋区	1		
				合計	52		

杉の子学園 短期入所事業

年齢別利用者状況		市町村別利用者状況				障害支援区分別利用者状況	
年齢区分	人数	市町村名	人数	市町村名	人数	区分	人数
18～20歳	1	さいたま市	5	三郷市	1	1	0
21～30歳	6	川越市	1	鶴ヶ島市	1	2	0
31～40歳	0			合計	8	3	1
41～50歳	1					4	0
51～60歳	0					5	2
61～70歳	0					6	5
71歳～	0					合計	8
平均年齢 25.1歳	8						

利用者の状況

H31.3.31

あかしあの森 就労移行支援事業

年齢別利用者状況		市町村別利用者状況				障害支援区分別利用者状況	
年齢区分	人数	市町村名	人数	市町村名	人数	区分	人数
18～20歳	2	さいたま市	1	川越市	1	1	0
21～30歳	0			合計	2	2	0
31～40歳	0					3	0
41～50歳	0					4	0
51～60歳	0					5	0
61～70歳	0					6	0
平均年齢 19.5歳	2					合計	0

あかしあの森 就労継続支援A型事業

年齢別利用者状況		市町村別利用者状況				障害支援区分別利用者状況	
年齢区分	人数	市町村名	人数	市町村名	人数	区分	人数
18～20歳	0	さいたま市	5	久喜市	1	1	0
21～30歳	1	北本市	0	川口市	1	2	0
31～40歳	2	川越市	2	寄居町	0	3	0
41～50歳	3			合計	9	4	0
51～60歳	2					5	1
61～70歳	1					6	0
平均年齢 42.8歳	9					合計	1

あかしあの森 就労継続支援B型事業

年齢別利用者状況		市町村別利用者状況				障害支援区分別利用者状況	
年齢区分	人数	市町村名	人数	市町村名	人数	区分	人数
18～20歳	0	さいたま市	25	川口市	1	1	0
21～30歳	13	草加市	1	志木市	0	2	0
31～40歳	5	川越市	1	杉戸町	0	3	0
41～50歳	10	富士見市	2	蓮田市	1	4	3
51～60歳	3	宮代町	2	上尾市	0	5	4
61～70歳	2			合計	33	6	19
平均年齢 37.6歳	33					合計	26

利用者の状況

H31.3.31

あかしあの森 生活介護事業

年齢別利用者状況

年齢区分	人数
18～20歳	0
21～30歳	7
31～40歳	3
41～50歳	3
51～60歳	0
61～70歳	0
71歳～	0
平均年齢 32.1歳	13

市町村別利用者状況

市町村名	人数	市町村名	人数
さいたま市	10	富士見市	1
志木市	2		
		合計	13

障害支援区分別利用者状況

区分	人数
1	0
2	0
3	1
4	7
5	3
6	2
合計	13

あかしあの森 短期入所支援事業

年齢別利用者状況

年齢区分	人数
21～30歳	6
31～40歳	5
41～50歳	3
51～60歳	4
61～70歳	1
71歳～	0
平均年齢 37.6歳	19

市町村別利用者状況

市町村名	人数	市町村名	人数
さいたま市	13	南埼玉郡	0
川越市	3	北葛飾郡	0
川口市	1	草加市	1
朝霞市	0	志木市	0
上尾市	0	春日部市	0
越谷市	0	鴻巣市	0
和光市	0	三郷市	0
日高市	0	蓮田市	0
東松山市	0	吉川市	0
富士見市	1	板橋区	0
		合計	19

障害支援区分別利用者状況

区分	人数
1	0
2	0
3	0
4	1
5	2
6	16
合計	19

利用者の状況

H31.3.31

プリムローズ 共同生活援助事業

年齢別利用者状況

年齢区分	人数
18～20歳	0
21～30歳	2
31～40歳	0
41～50歳	3
51～60歳	1
61～70歳	1
71歳～	2
平均年齢 50.2歳	9

市町村別利用者状況

市町村名	人数	市町村名	人数
さいたま市	5	蓮田市	1
富士見市	1	川越	2
		合計	9

障害支援区分別利用者状況

区分	人数
1	0
2	0
3	0
4	0
5	0
6	9
合計	9

プリムローズ 短期入所事業

年齢別利用者状況

年齢区分	人数
18～20歳	1
21～30歳	3
31～40歳	0
41～50歳	0
51～60歳	0
61～70歳	0
71歳～	0
平均年齢 23.7歳	4

市町村別利用者状況

市町村名	人数	市町村名	人数
さいたま市	3	ふじみ野市	1
		合計	4

障害支援区分別利用者状況

区分	人数
1	0
2	0
3	0
4	0
5	2
6	2
合計	4

短期入所事業利用実績状況

H31.3.31

月	利用日数	利用者数		月	利用日数	利用者数		月	利用日数	利用者数	
		男性	女性			男性	女性			男性	女性
H30年 4月	30	21	10	5月	31	21	10	6月	30	21	10
	11~29				11~30				11~29		
	10				10				10		
	9				9				9		
	8				8				8		
	7				7				7		
	6				6				6	2	
	5	2			5	1			5		
	4				4	2			4		
	3		2		3	4	1		3	4	2
2	4	1	2	5	2	2	3	1			
1	1		1	1		1					
述べ利用日数/月		649	308	述べ利用日数/月		687	317	述べ利用日数/月		660	308
利用者数/月		28	13	利用者数/月		34	13	利用者数/月		30	13
平均利用数/日		31.9		平均利用数/日		32.4		平均利用数/日		32.3	
月	利用日数	利用者数		月	利用日数	利用者数		月	利用日数	利用者数	
		男性	女性			男性	女性			男性	女性
7月	31	21	10	8月	31	21	10	9月	30	21	10
	11~30				11~30				11~29		
	10				10				10		
	9				9				9		
	8				8				8		
	7				7	2			7		
	6				6	1			6		
	5				5		1		5		
	4				4	4	1		4	2	
	3	7	2		3	3			3	5	2
2	5		2	6	3	2	3	1			
1			1			1					
述べ利用日数/月		682	316	述べ利用日数/月		708	325	述べ利用日数/月		659	308
利用者数/月		33	12	利用者数/月		37	15	利用者数/月		31	13
平均利用数/日		32.2		平均利用数/日		33.3		平均利用数/日		32.2	
月	利用日数	利用者数		月	利用日数	利用者数		月	利用日数	利用者数	
		男性	女性			男性	女性			男性	女性
10月	31	21	10	11月	30	21	10	12月	31	21	10
	11~30				11~29				11~30		
	10				10				10		
	9				9				9		
	8				8				8		
	7				7				7	1	
	6				6				6	1	
	5				5	1			5		
	4	1			4	1			4	1	
	3	1			3	4	1		3	5	3
2	1	1	2	4	2	2	5	1			
1			1			1					
述べ利用日数/月		660	312	述べ利用日数/月		659	307	述べ利用日数/月		693	321
利用者数/月		24	11	利用者数/月		31	13	利用者数/月		34	14
平均利用数/日		31.4		平均利用数/日		32.2		平均利用数/日		32.7	
月	利用日数	利用者数		月	利用日数	利用者数		月	利用日数	利用者数	
		男性	女性			男性	女性			男性	女性
H31年 1月	31	21	10	2月	28	21	10	3月	31	21	10
	11~30				11~27				11~30		
	10				10				10		
	9				9				9		
	8				8				8		
	7				7				7		
	6				6				6		
	5				5				5		
	4		1		4				4		
	3	3	1		3	6			3		
2	1		2			2					
1	1		1			1					
述べ利用日数/月		663	317	述べ利用日数/月		606	280	述べ利用日数/月		651	310
利用者数/月		26	12	利用者数/月		27	10	利用者数/月		21	10
平均利用数/日		31.6		平均利用数/日		31.6		平均利用数/日		31.0	

年間	男性	女性	合計
述べ利用日数	7,977	3,729	11,706
年間利用者数	356	149	505
平均利用者数	32.0		